

5 活動報告（IV 全体）

① 大学COCシンポジウム

地域と大学で今後の地域活性化に向けての方向性を共有する場として、県内外へ広く事業の趣旨を発信し、事業と地域活性化への理解を深める場として【COC シンポジウム】を開催しています。

開催概要

第1回 四国大学 COC シンポジウム

—地(知)の拠点整備事業:SUDAchi プロジェクトが動き始めました—

1 日時 平成27年2月2日(月) 13:30 ~16:10

2 会場 ホテルクレメント徳島 3階金扇(徳島市寺島本町西1丁目61番地)

3 プログラム

1) 開会挨拶および概要説明(13:30~13:50)

『地域貢献型人材育成を目指す四国大学 SUDAchi プロジェクト』

四国大学長 松重 和美

2) 来賓挨拶及び講演(13:50~14:40)

『地(知)の拠点大学による地方創生について~ COC から COC+へ~』

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長

猪股 志野 氏

『「地方創生の旗手・徳島」の挑戦~全国に先駆けた「一歩先の未来」へ~』

徳島県知事 飯泉 嘉門 氏

3) 記念講演

『地方創生へ新たな挑戦』

(株)いんどり社長 四国大学特認教授 横石 知二 氏

4) 四国大学における地域連携の取り組み事例紹介(15:30~16:10)

『阿波学事始め』

文学部 教授 太田 剛

『地域がキャンパス推進事業』

文学部 准教授 須藤 茂樹

『藍染など伝統文化継承事業』

生活科学部 准教授 瀬部 昌秀

『徳島県における新しい子育て支援の構築』

看護学部 教授 小川 佳代

掲載新聞広告

地(知)の拠点 平成26年度 文部科学省 「地(知)の拠点整備事業」
とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業

先進的・地域貢献大学を目指して 四国大学

第1回 四国大学COCシンポジウム

SUDAchiプロジェクトが動き始めました

とくしまで学び協働で創生する
地域の活性化について理解を深め、学内外の方々と「とくしまを元気に元気に」という目的を共有する時間をもちたいと思われ、SUDAchiを企画しました。協働の参加をお待ちしております。

開会挨拶および概要説明
四国大学長 松重 和美
来賓挨拶および講演
文部科学省高等教育局
大学振興課長 里見 朋香 氏(徳島)
徳島県知事 飯泉 嘉門 氏(徳島)

記念講演
株式会社いんどり社長
四国大学特認教授 横石 知二 氏
四国大学における
地域連携の取り組み事例紹介
四国大学 教 授 太田 剛
四国大学 准教授 須藤 茂樹
四国大学 准教授 瀬部 昌秀
四国大学 教 授 小川 佳代

SUDAchiプロジェクトとは
地域を元気にする
地域貢献活動
地域の魅力を発掘する
研究活動
徳島を元気に、体験し
徳島を元気に育む
教育活動
「地」で育て、「知」へ返す」をコンセプトに、地域と連携した教育・研究・地域貢献を通じて、卒業後、地域貢献を続け、活社会に力を発揮できる【地域貢献型人材】を育成するプロジェクトです。
プロジェクト名の「SUDAchi」は、Shikoku University (Dream Achievement (四国大学夢実現))からとりました。

2015 2.2月
13:30~17:00【受付開始 12:30~】

会場 ホテルクレメント
徳島 3階【金扇】
徳島市寺島本町西1丁目61

定員 200名
※シニア割引
※学生割引
※障がい者割引

＜要申込 | お申し込み先・お問い合わせ先＞
四国大学 地域教育・連携センター 〒771-1192 徳島県徳島市広神町古川 tel 088-665-9953
FAX 088-665-9983 E-mail sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp
*所属・職名・氏名・TEL・E-mail・情報交換会の参加・不参加を明記ください。
【主催】四国大学【後援】徳島県、徳島市、美波町、徳島新聞社、産経新聞社徳島支局、日本経済新聞社徳島支局、西国放送、NHK徳島放送局



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

第1回 四国大学COCシンポジウム

とくしまで学び協働で創生する

先進的地域貢献大学を目指す四国大学は、地域とのかかわりの中で活躍できる人材を育成し、とくしまの活性化に貢献しようとしています。

今回は、地域での人材育成、地域の活性化について理解を深め、学内外の方々と「とくしまをますます元気に」という目的を共有する時間を持ちたいと思い、シンポジウムを企画しました。

学外から3名の講演者を迎え、それぞれの立場から最新の取り組みについて講演いただくと共に、**四国大学の地域連携**と今後の展望をご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。



文部科学省

地(知)の拠点整備事業 とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業

SUDAchiプロジェクトが動き始めました

2015 **2.2**月 13:30~17:00
受付開始 12:30~

会場:ホテルクレメント徳島
徳島市寺島本町西1丁目61 3階【金扇】

要申込

定員:200名様
シンポジウム/参加費無料

情報交流会/
¥1,000
(当日徴収)

PROGRAM

開会挨拶および概要説明

四国大学長 松重和美

来賓挨拶及び講演

文部科学省高等教育局大学振興課長 里見朋香氏(予定)
徳島県知事 飯泉嘉門氏(予定)

記念講演

株式会社いろどり社長
四国大学特認教授 横石知二氏

四国大学における 地域連携の取り組み事例紹介

四国大学 教授 太田 剛
四国大学 准教授 須藤 茂樹
四国大学 准教授 瀬部 昌秀
四国大学 教授 小川 佳代

【主催】四国大学

【後援】徳島県、徳島市、美馬市、美波町、徳島新聞社、産経新聞社徳島支局、日本経済新聞社徳島支局、四国放送、NHK徳島放送局

第1回 四国大学COCシンポジウム

文部科学省
地(知)の拠点整備事業 とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業

SUDAchiプロジェクトが 動き始めました

PROGRAM

» 13:30~13:50 /
開会挨拶および概要説明

「地域貢献型人材育成を目指す
四国大学SUDAchiプロジェクト」
四国大学長 松重和美



» 13:50~14:40 / 来賓挨拶および講演

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)について」(予定)
文部科学省高等教育局大学振興課長 里見朋香氏(予定)
「徳島から地方創生に挑戦～課題解決先進県・徳島の挑戦を加速～」(予定)
徳島県知事 飯泉嘉門氏(予定)

» 14:40~14:50 / 休憩

» 14:50~15:30 / 記念講演『地方創生へ新たな挑戦』
株式会社いろどり社長・四国大学特認教授 横石知二氏

» 15:30~16:10 / 四国大学における地域連携の取組み事例紹介

『阿波学事始め』四国大学 教授 太田 剛
『地域がキャンパス推進事業』四国大学 准教授 須藤 茂樹
『藍染など伝統文化継承事業』四国大学 准教授 瀬部 昌秀
『徳島県における新しい子育て支援の構築』四国大学 教授 小川 佳代

» 16:10~17:00 情報交換会

» 記念講演 講師プロフィール



よこいし ともじ
横石 知二

株式会社いろどり
代表取締役社長
四国大学特認教授

【略歴】

1958年徳島県生まれ。徳島県立農業大学校を卒業後、20歳で上勝町農業協同組合に営農指導員として採用される。86年秋に「がんこ寿司」でヒントを得て、「つまもの」事業を上勝町で開始。99年4月、第3セクター株式会社いろどり(<http://www.irodori.co.jp>)の設立に尽力。現在代表取締役社長。契約農家200軒で取り組むいろどりは、いまや年間売上3億円に迫る勢い。平均年齢70歳のお年寄りがイキイキ働き、高収入を得る姿は「究極の高齢者福祉産業」とも言われ、全国、世界各国からの視察や取材が絶えない。07年7月「Newsweek(日本版)」誌「世界を変える社会起業家100人」にも選出された。14年6月、徳島県表彰受賞。著書に「そうだ、葉っぱを売ろう!」過疎の町、どん底からの再生『生涯現役社会のつくり方』(ともにソフトバンククリエイティブ)がある。

〈参加申込書〉

所属	職名	情報交換会 *どちらかに○印をご記入ください <input type="radio"/> 参加 ¥1,000 (当日徴収) <input type="radio"/> 不参加
氏名		
TEL	E-mail	

お申し込みは「E-mail」または「FAX」にてお願いします。

お申し込み先
お問い合わせ先

四国大学 地域教育・連携センター

E-mail sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

FAX 088-665-9983

〒771-1192 徳島県徳島市応神町古川 tel 088-665-9953

5 活動報告（IV 全体）

② 地域活性化フォーラム

地域と大学で今後の地域活性化に向けての方向性を共有する場として、県内で特定のテーマに絞った地域活性化に向けた取組みを紹介する「地域活性化フォーラム」を開催しました。

開催概要

第1回 四国大学地域活性化フォーラム

タイトル 高校生・大学生・市民のための地域学習“地域は人が創るもの”
—地域に貢献できる人を育てたい 四国大学からのメッセージ—

1 日時 2014年11月29日(土)午後1時より3時

2 会場 四国大学 交流プラザ 5F フォーラムホール及び会議室

3 講演プログラム

13:00~13:20 挨拶 『四国大学 COC 事業(SUDAchi プロジェクト)の目指すもの』
講演者) 松重 和美 学長

13:20~14:20 特別講演『創造的過疎と神山での地域活性化の取組み』
講演者) NPO 法人グリーンバーレー理事長
四国大学特認教授 大南 信也

14:30~15:00 学生発表
地域連携に『こだわった』人材育成の仕組みとその実践
— 他大学にはない『こだわり』の取組みを紹介します —
発表者) 経営情報学部長 疋田 光伯
参加学生(3名)

第2回 四国大学地域活性化フォーラム

タイトル 文芸評論家若松英輔氏講演会
いのちの文学—石牟礼道子と志村ふくみ—

1 日時 2015年3月21日(土)午後2時より4時

2 会場 徳島県立文学書道館 2階実習室

3 講演プログラム

14:00~16:00 講演会「いのちの文学」
出演者) 若松英輔先生(三田文学編集長)
吉村萬壺先生(第129回芥川賞作家)
司会) 佐々木義登(四国大学全学共通教育センター准教授)

第1回配布チラシ

地(知)の拠点

四国大学COC事業「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」が平成26年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択されました。今後5年間の予定で、国費の助成を受けながら地域活性化に向けた様々な取り組みを展開します。

第一回「地域活性化フォーラム」では、徳島県神山町で活躍されている大南氏をお迎えし地域活性化の取り組み事例等をご講演いただきます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2014
11/29(土)
13:00~15:00 (開場 12:30)

予約不要
参加無料

場所

四国大学交流プラザ5階
フォーラムホール

徳島市寺島本町2丁目35-6 ホテルグランドパレス西側



交流プラザには駐車場がありません。自転車、または公共交通機関でお越しください。近隣の有料駐車場をご利用ください。

お問い合わせ

地域教育・連携センター「SUDAchi推進室」
tel.088-665-9953
fax.088-665-9953

四国大学COC事業 第1回 四国大学地域活性化フォーラム
高校生・大学生・市民のための地域学習
“地域は人がつくるもの”



第3回「ICT(愛して)とくしま大賞」e-とくしま推進財団賞 作品名「阿波リズム」 生活科学科デザインコース卒業生 米田 沙里

Program

1) ごあいさつ

四国大学COC事業 (SUDAchi プロジェクト) の目指すもの

注) COC: Center of Communityの略

学長 松重和美



2) 特別講演

『創造的過疎と神山での地域活性化の取り組み』

NPO法人グリーンバレー理事長・四国大学特認教授 大南信也



<講演者プロフィール>

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学大学院修了。過疎地域が生き残るための解決策を見いだそうと、90年代初頭よりアートや環境を柱に地域と世界をつなぐグローバルな視点での地域活性化や、ワークインレジデンスによる若者や起業家の移住、ITベンチャー企業とのサテライトオフィス誘致による雇用の創出などに取り組んでいる。「創造的過疎」を標榜し、クリエイティブな人材の持つアイデアやスキルの集積、融合によって各種地域課題の解決を進めている。ふるさとづくり推進会議委員(内閣官庁)、四国大学特認教授。

3) 実践報告

地域連携に「こだわった」人材育成の仕組みとその実践

— 他大学にはない「こだわり」の取り組みを紹介します —

経営情報学部長 疋田光伯・参加学生

SUDAchiプロジェクト

SUDAchi: Shikoku University Dream Achievement (四国大学夢実現)

地元自治体・企業・住民とともに、地域の魅力を発見し、県内外への情報発信を行う中で、郷土と地域に愛着をもった学生を育て、特色ある“地域貢献型人材”を育成します。

- ・地域教育カリキュラムを整備して全学生に実施します。
- ・地域社会貢献型の教育研究活動を展開します。
- ・地域住民のみなさんに生涯学習の場を提供します。
- ・新「あわ学」(地元学)を構築し、「あわ検定」(体験型)を創設します。

四国大学マスコット
キャラクター
しこぼん



主催



四国大学 地域教育・連携センター「SUDAchi推進室」経営情報学部

佐々木義登 第6回とくしま芸術文化奨励賞 受賞記念 【第2回 四国大学地域活性化フォーラム】

いのちの文学

—石牟礼道子と志村ふくみ—

文芸評論家 若松英輔氏 講演会

2015

3.21 土曜日

14:00~16:00 (開場 13:30)

【開催場所】

徳島県立文学書道館
2階実習室

【入場料】無料 【事前申込】不要 (定員80名)

プログラム

14:00 ~ 15:00 第一部：講演「いのちの文学 —石牟礼道子と志村ふくみ—」

【講師】若松 英輔 氏 【司会】佐々木 義登

15:00 ~ 15:10 休憩

15:10 ~ 16:00 第二部：参加者を交えた対話形式での講演

【講師】若松 英輔 氏 【ゲスト】吉村 萬巻 氏【ナビゲーター】佐々木 義登

講師プロフィール



若松 英輔 わかまつ えいすけ

批評家、読売新聞書評委員、『三田文学』編集長。
1968年生まれ、慶應義塾大学文学部仏文科卒業。
2007年『越知保夫とその時代 求道の文学』にて第14回三田文学新人賞評論部門当選。
【主な邦文著作】『井筒俊彦 徹知の哲学』(慶應義塾大学出版会 2011) 『神秘的夜の旅』(トランスビュー 2011) 『魂にふれる 大震災と、生きている死者』(トランスビュー 2012) 『死者との対話』(トランスビュー 2012) 『中村鑑三をよむ』(岩波書店 2012) 『池田晶子 不滅の哲学』(トランスビュー 2013) 『岡倉天心「茶の本」を読む』(岩波書店 2013) 『涙のしずくに洗われて咲きつづるもの』(河出書房新社 2014) 『君の悲しみが美しいから僕は手紙を書いた』(河出書房新社 2014) 『吉満義彦 詩と天使の形而上学』(岩波書店 2014) 『生きる哲学』(文藝春秋社 2014)
【主な英文著作】Toshihiko Izutsu Philosopher of WORD (LTCB International Library Selection No. 33 2014)
【主な共著】『井筒俊彦とイスラーム 回想と書評』(慶應義塾大学出版会 2012) 『現代の超克』中島岳志・若松英輔 ミシマ社 2013
【編集著作】『読むと書く 井筒俊彦エッセイ集』(慶應義塾大学出版会 2009) 『小林秀雄——越知保夫全集』(慶應義塾大学出版会 2010) 『井筒俊彦全集』(慶應義塾大学出版会 2013~) 『井筒俊彦：言語の根拠と哲学の発生』(河出書房新社 2014)
【進行中の連載】(2014年12月現在) 『岡倉天心 日本近代絵画を創った描かぬ巨匠』(『考える人』) 『柳宗悦笑に用いられた人』(『目の眼』) 『辨の舟 往復書簡 志村ふくみ・若松英輔』(『すばる』) 『美しい花 小林秀雄』(『文学界』) 『往復書簡 和合亮一・若松英輔』(『東京新聞』)



吉村 萬巻 よしむら まんいち

作家。
1961年、愛媛県生まれ。
1997年『国営巨大浴場の午後』で第1回京都大学新聞社新人文学賞受賞。
2001年『クチュクチュバーン』で、第92回文壇新人賞受賞。2003年『ハリガネムシ』で第129回芥川賞受賞。『ヤイトスエド』(2009年 講談社)、『ポラード病』(2014年 講談社)、『臣女』(2014年 徳間書店)。2013年に開催された文学書道館での講演会を皮切りに、毎年、徳島県内での文学講演会やトークショーに参加。県内の芸術文化の向上に貢献している。



佐々木 義登 ささき よしと

博士(文学)、専門は太宰治研究。四国大学全学共通教育センター准教授。
2007年に小説『青空クライシス』にて、第14回三田文学新人賞小説部門を受賞。『桃』(『三田文学』)、『空に住む木馬』(『月刊国語教育』)、『ナイフ』(『文芸思潮』)。新聞紙上でのエッセイ執筆、講演会などを多数行うほか、三好市主催の『全国高等学校文芸誌賞』最終選考委員など社会貢献活動を展開。
小説の指導に定評があり、徳島県内の高等学校でも小説実作の講演会やワークショップを数多く開講。直接指導した徳島県立池田高等学校1年安宅星夏さんが第3回飛行船文学賞を受賞。
今年4年目となる四国大学オープンカレッジ「小説実作講座」には現在も20代から60代の32名の受講者が在籍。これらの小説指導による地域文化への貢献等が評価され、とくしま芸術文化奨励賞受賞。

出張授業や公開講座での活動を通じて、佐々木義登は地域の人々に文学の面白さを伝え、また地域の才能を発掘することに力を尽くしてきました。その地域文化への貢献を評価され、今回「第6回とくしま芸術文化奨励賞」を受賞しました。この受賞を記念し、佐々木自らのプロデュースにより、講演とゲストを交えた対話からなる講演会を開催します。講師には佐々木と共に第14回三田文学新人賞を受賞し、読む、書く、考えるの楽しさを伝える活動を展開している評論家・若松英輔氏をお招きします。

『感じたことをしっかりと言葉で表現すること』で、その印象は、より鮮明に、深く記憶に残ります。(若松氏ホームページより)

こころの温かさを伝えることを主題として活躍している、日本現代文学を代表する文学者である若松氏の感性に触れ、地域の芸術文化の活性化につなげていただければと思います。

先進的地域貢献大学を目指して



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学



文部科学省
地(知)の拠点

問い合わせ先

四国大学地域教育・連携センター

TEL 088-665-9953 E-mail : sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp

【主催】四国大学地域教育・連携センター<SUDachi推進室>
四国大学全学共通教育センター

【共催】公益財団法人徳島県文化振興財団

information

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に、四国大学のプロジェクト「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」が採択されました。5年間の予定で国費の助成を受けながら、とくしまで学び、地域社会に貢献できる人材を育成していきます。

5 活動報告（IV 全体）

③ スーパーサテライトオフィスの開設と活動

地域住民・地方自治体・学生・教職員が集う場所として、地域貢献活動の拠点となるスーパーサテライトオフィスを、西部地区（美馬市）と南部地区（美波町）に開設しました。大学と地域をつなぐ窓口として、順調に活動しています。

西部地区 SSO 開所式(平成26年11月10日(月))



南部地区 SSO 開所式(平成26年11月12日(水))



四国大がネット講義

きょうから 美馬と美波に配信

古典文学や消費者教育

四国大(徳島市広神町)は、同大が美馬市に開設したサテライトオフィスや美波町の公共施設にインターネット回線を使って大学の講義を同時配信する「SUDAcchi(すだち)講座」を12日から始める。講義のテーマは古典文学や英語、消費者教育など幅広く、大学から離れた地域に住む人にもそれぞれの地元で気軽に学んでもらえるようにする。

講義は主に徳島市内の七つの講座を開講し、同大交流プラザと古川キ希望者は誰でも無料で受講できる。12日にある文芸、美馬市の西部地区、学部の田中省道教授による「スーパーサテライトオフィスのことば遊び」では、ス(同市協町の旧協町歌人伴家持の歌を取り舎)と美波町コミュニティを上げる。このほか短に配信する。一部の講座は美馬市からも発信する。各所にインターネット設備やプロジェクターを配備し、リアルタイムで映像と音声を届ける。同大は昨年11月に美馬12日から9月11日の間、市と美波町にサテライト

受講無料「気軽に学んで」

オフィスを開設しており、地域と連携を図るため、地域が持つ知識と人材を広く市民に提供するために配信を決めた。今回の講座では美波町の南部地区スーパーサテライトオフィス(同町奥河内の奥河内町農産物加工センター)は使わず、収容人数の多い美波町コミュニティホールを使用することにした。

七つの講座が終わった後は、新たな講座を始める予定。受講者アンケートを行い、配信時間帯や内容を考える。12日は午後3時15分から4時45分まで。受講の問い合わせは同大地域教育・連携センター(電話088・6955・9905)。(谷松美和子)

平成27年5月12日付け徳島新聞朝刊

大滝山の魅力体感

四国大生 ツアー開発へ調査

四国大生活科学部の4年生15人が、美馬市馬市脇町の大滝山(946m)周辺で観光ツアー開発に向けたフィールドワークを行い、地域の魅力や観光資源を探った。

学生は、徳島・香川県境に広がる大滝山の頂上付近にある西照神社と、四国別格霊場20番札所・大滝寺を訪れ、地域の歴史を学んだ。その後、交流宿泊施設「美科が丘」に移動。シカ肉の竜田揚げやそばを打つなどの料理に舌鼓を打った。

続いて2班に分かれ、フルベリ農家でのシヤム作りと、そば打ち体験施設でのそば打ちに挑戦する四国大生一美馬市脇町



そば打ちに挑戦する四国大生一美馬市脇町

に受けるのではないかと話した。今回参加した学生有志は11月までに、大滝山・広備地区で昼食行われる「芝桜祭り」のPRポスターと、大滝山の観光パンフレットを作成させる。美馬市は学生の意見を基に、11月中にも実施する。(尾形つぐみ)

漂着物で作ったアート作品展示

海辺の漂着物などで作る芸術作品を町並みに展示するアートフェスティバル「ひわさ海キラツ☆祭り」が19日、美波町の日和佐地区一帯で始まった。23日まで。

日和佐八幡神社、地域交流施設「初音湯」、桜町商店街など6カ所に、住民や地元児童らが流木、ベットボトル、貝殻などを組み合わせたアート作品を展示。住民や作者らと交流し、子どもたちの創作意欲を刺激する。



漂着物で作った人形を見て楽しむ親子連れ一美波町日和佐の日和佐八幡神社

意匠が感じられるかわい作品ばかり。漂着物アートをする人が多くなれば、こみがなくなると話していた。(谷利彦)

平成27年9月20日付け徳島新聞朝刊

平成27年9月22日付け徳島新聞朝刊

リース作り 保護者挑戦

日和佐 ことも園

美波町奥河内の日和佐 ことも園で、4カ月3歳の子どもを育てている町内の母親8人が、クリスマスリース作りを楽しんだ。

興味でリース作りに取り組み小山妙子さん(43)「徳島市入田町内」御田、看護師が材料や道具を用意して指導。直径20センチの輪にした黄金ヒバの葉に、フエルト生地や雪だるまやハート型の飾りなどを針金や接着剤で取り付け、1時間ほどで完



クリスマスリースを作る参加者。美波町奥河内の日和佐 ことも園

あんどんで幻想的に

13・14日 勝浦の神社で催し



勝浦町の坂本八幡神社社の境内や参道などを500個以上のあんどんで照らすイベント「あかりの里」が13、14の両日に開催される。

地元の子どもたちがイラストやメッセージを書き込んだ約240個が並ぶほか、四国大の学生が制作に加わった直径70センチのミカン型10個も飾られる。

4日には、実行委4人が同町坂本のふれあいの里さかもとに集まり、神社の鳥居に飾るあんどんを作った。大谷高由実行委員長は「多くの人に幻想的な光を染しんでもらいたい」と話した。

イベントは同神社の秋祭りを盛り上げるため、昔ながらの風景を復活させようと、住民有志が昨年始めた。秋祭りは15日。(佐藤聡美)

あんどんを作る実行委メンバー。勝浦町坂本のふれあいの里さかもと

平成27年10月7日付け徳島新聞朝刊

平成27年12月10日付け徳島新聞朝刊

プレハブに壁画描く



プレハブ事務所にイラストを描く稲垣さん。美馬市穴吹町三島

四国大生 美馬の産直市PR

四国大でイラストを専攻する稲垣唯さん(22)「松茂町笹木野、生活科学部生活科学科4年」が、美馬市穴吹町三島のプレハブ事務所の際面に野菜や果物などを描いている。同じ敷地で毎月開かれる産直市をアピールするため、プレハブに入居する「美馬のええもん推進協議会」が壁画を「キャンパス」代わりに提供。次回の産直市開催日の12日までに完成させる。

イラストはトウモロコシ、大の有内則子講師(41)の指やトマトなどを愛らしく、薄でプレハブに下絵を描くヤラクター化したものを含み、有内ゼミの3、4年生も、地元産の野菜、果物などもペンキで色を塗る作業を20種類。稲垣さんは四国 手伝っている。

12日に完成記念イベント

美馬のええもん推進協議会市内の産直市グループ、食品加工会社など13企業・団体でつくり、今年5月から「美馬のええもん産直市」を開催。会場の市林業センターは国道192号沿いにあるものの、産直市をPRする看板などはなく、通行車両に産直市をアピールすることが難しかった。

出品者から「目立つ工夫をしてほしい」との要望を受け、推進協が四国大スパーサテライトオフィス(同市脇町)に協力を依頼。稲垣さんが卒業制作の一環として、イラストに取り組みことになった。

稲垣さんは「自分の描いたキャラクターが残るのがうれしい。一人でも多くの買い物客が産直市を訪れてくれれば」と話している。

12日の産直市ではイラスト完成を記念し、先着100人にインシシの肉入りみそ汁を振る舞う。(岡島久夫)

平成27年12月6日付け徳島新聞朝刊

5 活動報告 (IV 全体)

- ④ 学内外への周知活動
 - 地域活性化リーフレットの配布
 - 新聞広告の掲載
 - 学内フォーラムの開催
 - パネル展示の実施

連携する自治体

徳島県
地域の担い手となる人材の育成や地域の文化・スポーツの振興、観光振興政策の推進など、幅広い分野で地域社会への貢献に専念することを目的に包括連携協定を締結しました。(平成25年9月27日締結)

徳島市
地域の担い手となる人材の育成や地域課題解決、地域の再生・活性化等幅広い分野で地域社会への貢献に専念することを目的に包括連携協定を締結しました。(平成25年10月1日締結)

美馬市
うだつの雨並みに連携を進めている「美馬市観光交流センター」の運営や広域的な技術指導、センターの運営アドバイザー等の事業を支援し、地域活性化に資することを目的に包括連携協定を締結しました。(平成25年10月2日締結)

徳島県(南部総合振興局)
美馬市をキャンパスに見立て、学生が「観光」「文化」「防災対策」など幅広い分野を調査研究し、地域活性化の進む徳島県南部地域の活性化につなげることを目的に「地域がキャンパス」推進事業を実施しています。

SUDachi Event NEWS

- 2014.04.09 平成26年度「地(知)の拠点整備事業」申請書提出
- 2014.07.25 「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」仮設通知
- 2014.08.28 大学改革内フォーラム(教職員対象)開催
- 2014.09 「美馬市観光交流センター」実施
- 2014.10 「地域がキャンパス推進事業」実施

地域教育・連携センター「SUDachi 推進室」

学長
副学長
各学部
事務局

SUDachi Project NEWS Letter

SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

〒771-1191 徳島市神門町九川
Tel:088-665-1100 Fax:088-665-8037
http://www.shikoku-u.ac.jp

表紙デザイン
第3回「CIT(愛した)とくしま大賞」の「とくしま賞」受賞作品
作品名:「阿波リズム」
生体知学デザインコース学生
栗田 伊羅

地(知)の拠点
平成26年度 支那科学者「地(知)の拠点整備事業」

SUDachi Project NEWS Letter No.1 [創刊号] 2014.9

とくしまを学び、協働で創生する。

SUDachi プロジェクト始動!

SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

2014年9月発行

とくしまで学び、地域社会に貢献できる人材を育成!

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に、四国大学のプロジェクト「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」が採択されました。

大学COC(Center of Community)事業って?

地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める「地域のための大学」を支援することで、地域コミュニティの中心的存在としての大学づくりをめざすものです。平成26年度は、全国の大学・短大等が6257件の申請があり、その中から本学を含む25校が採択されました。

「とくしまで学び育てる地域貢献型人材育成事業」って?

「SUDachi」=Shikoku University Dream Achievement = 四国大学夢実現。全学的な推進組織の体制を整備し、地域課題の解決に向けたカリキュラムの実現を図り、特色ある「地域貢献型人材」を育成します。

目標
学生合格率
100%

徳島県・徳島市・美馬市

- 活動拠点などの提供
- 受け入れ団体・地域の調整
- 職員等の講師派遣・協力
- 連携協議体の機能強化

教育

地域教育を充実します
(地域教育、カリキュラム・組織改革)

- 地域関連科目を全学共通科目に新設
- 地域・社会を志向した専門科目の充実
- 地域体験型学習の実施
- 地域を志向した学科改組
- 地域連携キャリア教育の実施
- 地域・観光系インターンシップの充実
- 地域教育の全学的体系化、外部専門家による教育水準の向上

新「あわ学」

徳島県の歴史・文化、観光、生活、経済、地理、行政、産業等に関する資料の整理、調査の押し取り取込みやイベント開催を収容、データベース化し、地域に関する教育を支援します。

研究

地域研究を推進します
(地元学・地域課題解決)

- 阿波学事始め
- 地域観光振興政策
- 伝統産業政策
- 特産品の開発・販売
- 地域共同研究

地域貢献

地域活性化を促進します
(地域振興・活性化)

- 地元で貢献できる人材育成
- 新規事業等の企画
- 学生ボランティア派遣
- 遠隔システムを活用した生涯学習講座の開催
- 「地域活性化フォーラム」の開催
- 地域のベンチャー起業家支援

「あわ検定」

新「あわ学」をベースに、体系的な内容も追加。学際的な評価観点及び地域への貢献、県内外への広域ツールとして学生・教職員・地域住民・自治体が「丸」となっており、協定を実施します。

四国大学
地域教育の集大成

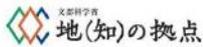
徳島を知り、徳島がもっと好きになる!

地域貢献型人材育成

全学を挙げて地域課題等に取組むことにより、学生は大学での学びを通して、地域課題への意識を高め、解決に向けて主体的に行動できる人材へと成長します。地域で活躍し、社会に貢献できる人材の育成をめざします。

地域課題解決・活性化

新たな地域活性化の設計・実行、少子高齢化や若者の県外流出の防止など、徳島県が抱える課題を解決へと着目した役割を担う大学をめざします。



四国大学の「とくして学び育てる地域貢献型人材育成事業」は今年度、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に採択されました。今後5年間の予定で、国策の達成を受けて地域活性化に向けた多様な事業を積極的に展開します。

先進的地域貢献大学を目指して 四国大学

地元自治体・企業・住民とともに、地域の魅力を発見し、県内外への情報発信を行う中で、郷土と地域に愛着を持つ学生を育て、地域を支える人材育成を行います。

- ・地域教育カリキュラムを整備して全学生に実施します。
- ・地域社会貢献型の教育研究活動を展開します。
- ・地域住民のみなさんに生涯学習の場を提供します
- ・新「あわ学」を構築し、「あわ検定」を創設します。

スーパーサテライトオフィス(SSO)をオープンします。

地域住民・自治体・学生・教職員が集う場所として、松西部と県南部にスーパーサテライトオフィス(SSO)を開設しました。専門の地域連携コーディネーターを配属し、地域活性化・教育活動の拠点として、また、大学と地域をつなぐ窓口として、将来的に全県的な活動を視野に入れ、展開します。

西部 美馬市監町市民サービスセンター(旧監町庁舎)1階
(美馬市監町大字監町1303-3)

南部 徳島県南部総合県民局美波庁舎1階
(海部郡美波町美内井才天17-1)



特別講演会

詳細は四国大学HPをご覧ください。

Special Talk

第1回 四国大学地域活性化フォーラム

高校生・大学生・市民のための地域学習「地域は人がつくるもの」

2014年11月29日(土) 午後1時~3時
四国大学交流プラザ5階 フォーラムホール
(徳島市寺島本町2丁目35-6 ホテルブランドパレス隣)

特別講演

「創造的過疎と神山での地域活性化の取組み」

NPO法人グリーンパレ理事長 四国大学特任教授 大南信也氏



第1回 四国大学COCシンポジウム

2015年2月2日(月) 午後1時30分~5時
ホテルクレメント徳島 (徳島市寺島本町西1丁目6)

来賓挨拶・講演

文部科学省高等教育局 大学振興課長 里見朋香氏(予定)
徳島県知事 飯泉嘉門氏(予定)

記念講演

「[いとり]と地域活性化」(仮)
株式会社 いとり社長 横石知二氏
四国大学特任教授



SUDAchi推進室 SUDAchi: Shikoku University Dream Achievement

(四国大学夢実現)



学長 松重 和実

地域教育・連携センター、通称「SUDAchi(四国大学夢実現)推進室」は学長をセンター長とし、地域連携コーディネーターとスタッフを配する組織です。SSOをはじめ、県内各地域とのつながりをコーディネートし、人材育成を通じた地域活性化を強力に推進します。



SUDAchi推進室スタッフ

スポーツ振興を通じた地域の活性化

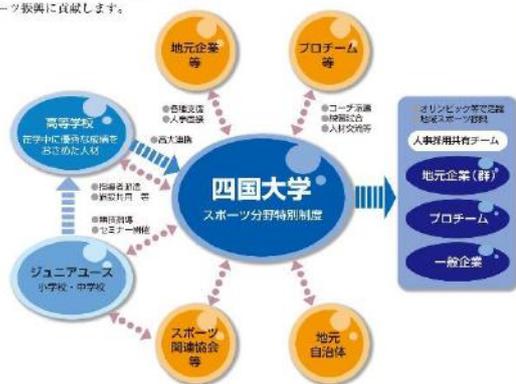
Sports Special Program

スポーツにおいて秀でた地域の人材をサポートする推進制度として「四国大学スポーツ人材育成システム(SSP)」を創設しました。

県上競技・弓道・女子サッカー・女子バレーボールを対象として、地域の企業・自治体やスポーツ関連団体と連携、卒業後も地域のスポーツ指導者等として、スポーツによる地域振興に関わる人材育成を図ります。米倉オープンスタジアムの全天候型(人工芝)のサッカー場、指導者・奨学金等ハード・ソフト両面での整備を進め、極限のスポーツ振興に貢献します。



全天候型サッカー場(人工芝) (四国大学)



地域を学び、活性化に貢献する人材を育てる大学



〒771-1102 徳島市志和町吉川
T+1098-665-1300
Fax.068-665-8087

大学院

- 文学研究科
- 総合科学研究科
- 人間生活科学研究科
- 看護学研究科

文学部

- 日本文学科
- 歴史文化学科
- 国語文化学科

経営情報学部

- 経営情報学科
- メディア情報学科

生活科学部

- 食品科学科
- 応用栄養士養成課程
- 児童学科

看護学部

- 看護学科

短期大学部

- ビジネス・コミュニケーション科
- 人間福祉科「食物栄養専攻・介護福祉専攻」
- 幼児教育保育科
- 音楽科

四国大学附属幼稚園

Shikoku University



四国大学 検索
http://www.shikoku-u.ac.jp
四国大学スマートフォンにアクセス

平成26年度第2回四国大学大学 COC 事業学内フォーラム)

(平成27年3月12日(木) 14:40~15:30 共通講義棟 R101教室)

- 1 COC事業概要説明—平成26年度の実績と今後の展開—(松重 和美 SUDAchi 推進室長)
- 2 地域連携コーディネーターとして(徳山 直人 西部地区 SSO 地域連携コーディネーター)
- 3 平成26年度 四国大学学術研究助成(地域志向型等)成果報告
 - ・ 地域の就学前児童への英語読み聞かせプロジェクト (スザンネ バロッグ 文学部准教授)
 - ・ 阿波みかん発祥の地・勝浦町で学ぶ農家の課題解決～体験を通じて地域活性化を考える～ (中岡 泰子 生活科学部教授)
 - ・ 過疎(中山間)地域の医療・福祉を担う人材の循環形成への取り組み①地域医療福祉のニーズ調査 (橋本 茂 看護学部准教授)
 - ・ 大学と訪問看護師が協働で進める技術研修を通じた学生への意識改革の試み (佐藤 千津代 看護学部講師)



みかん収穫ボランティア体験

目的 方法 活動 まとめ 展望

まとめと今後の展望

目的 方法 活動 まとめ 展望

1

2014.12.12 第1回ボランティア
生活科学科 学生11名が参加しました。
半日のボランティアで、採りかご約60杯収穫できました。

2014.12.14 第2回ボランティア
生活科学科 学生12名が参加しました。
この日は、雪が散らつく寒い日だったのですが、1日のボランティアで採りかご約150杯の収穫ができました。

2

ピックひな祭り
ボランティア体験・イベント協力の継続
地域の課題・ニーズの把握
地域の魅力発掘
地域貢献型人材の育成

与川内ホテル祭り
秋祭り LEDあんどん

勝浦さくら祭り

四国大学 生活科学科

官学民の連携・協働

勝浦町農家 地域住民

勝浦町役場 産業交流課

地域の魅力+人材+情報発信=地域力

研修を終えて..

学生が熱心に学んでくれるのは嬉しいです

いろいろな技術を習得できました。

教科書のイメージと違って現実的!

実際に現場で働いている人の話は説得力がありました

学生と一緒に最新の情報が沢山入りました

病院でもしっかりケアできるように頑張りたい

すごく勉強になりました。働く時に役に立ちます

学生からの感想

訪問看護師と共に学べたことの重要性

- 訪問看護師さんは慣れた様子で、現場で働く人はすごいと思った。いい刺激になった。
- 医師や看護師から知識をたくさん学べた。知識が豊富ですごいと思った。
- 現場で体験された話が聞いて勉強になった。
- 私も訪問看護師さんのようなコミュニケーションをとれるようになりたい
- もう一度解剖学を復習し、アセスメントできるようにならなければいけないと感じた

4. 質疑応答

パネル展示の実施

- 学生食堂 平成 27 年 11 月 5 日(木)～12 日(木)
- 中央棟(A館)ロビー 平成 27 年 11 月 16 日(月)～12 月 4 日(金)
- 30周年記念館(N館)ロビー 平成 27 年 12 月 7 日(月)～24 日(木)



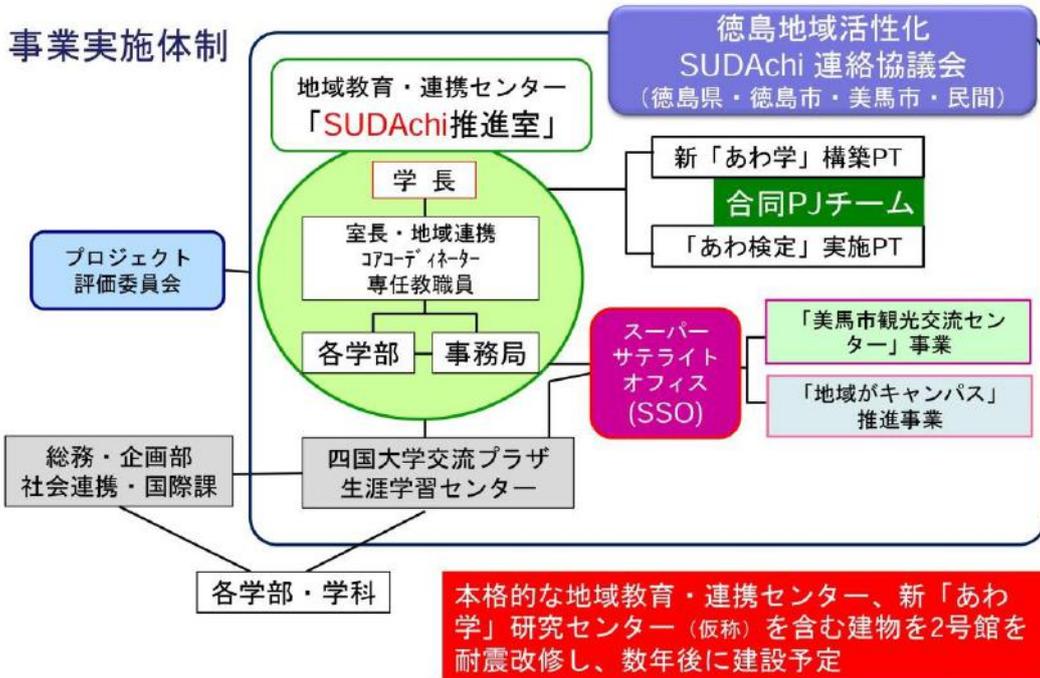
A館ロビーでの展示風景



N館ロビーでの展示風景

5 活動報告（IV 全体）

- ⑤ 実施体制等
 - 大学COC事業実施体制
 - 各種委員会等開催日程



2

事業全体の実施体制

(平成26年 第2回学内フォーラム資料より)

各種委員会等開催日程

平成26年

- 10月8日(水) 地域連携センター運営委員会準備会
- 12月1日(月) 第1回地域教育・連携センター運営委員会

平成27年

- 1月9日(金) 第1回徳島地域活性化 SUDAchi 連絡協議会
- 1月28日(水) 第2回地域教育・連携センター運営委員会
- 3月10日(火) 第3回地域教育・連携センター運営委員会
- 3月30日(月) 第2回徳島地域活性化 SUDAchi 連絡協議会
- 5月22日(金) 第1回地域教育・連携センター運営委員会
- 6月25日(木) 第1回徳島地域活性化 SUDAchi 連絡協議会
- 12月2日(水) 第2回徳島地域活性化 SUDAchi 連絡協議会
- 12月24日(木) 第2回地域教育・連携センター運営委員会